

事業計画

2026

中期経営計画
2026～2030

社長挨拶

中期経営計画の策定と今後の取り組みに対する期待

NEXCO東日本グループの社会的使命は、重要な社会インフラである高速道路空間をいつでも安全・安心・快適・便利にご利用いただけるよう高速道路のプロ集団として、24時間365日管理運営していくことです。この使命を果たすべく、皆さんの現場の最前線の業務やこれをサポートする立場での業務にひたむきに取り組んでいることに改めて感謝申し上げます。

今年度から新たに中期経営計画2026～2030がスタートします。今回の計画においても我々エンジ新潟の目指す姿や基本方針、重点計画、アクションプランを策定しました。

エンジ新潟の目指す姿は、『高速道路のホームドクターとして、あらゆる先端技術を活用し維持管理の専門技術力を最大限発揮して高速道路を守り抜き、地域社会の発展と暮らしの向上を支えるとともに、公正で透明な健全経営を目指す。』と新たに決めました。

そしてこれを実現すべく4つの基本方針を決めました。

(1)高速道路の維持管理体制を強化、(2)技術戦略の推進、(3)経営基盤を強化、(4)誰もが生き生きと働きたいのある会社づくり です。そしてこれに13項目の重点計画を定めています。

これらの計画の策定にあたっては、社員のみなさんへのアンケート調査、経営層へのヒアリング、様々な場面での意見交換を踏まえ作成したものです。NEXCO東日本グループの一員としてこの計画に基づく行動により、地域社会の発展と暮らしの向上に貢献してまいります。

我々を取り巻く様々な厳しい環境、例えば、高速道路の構造物や施設の老朽化の一層の進展、少子高齢化による労働力不足、生成AI等のDXの進化、一層の働き方改革やコスト抑制が求められる状況にありますが、ひとり一人が成長を実感し、より良き会社にすべく、そして働きたいのある会社を作り上げていきましょう。

そして常日頃から申し上げておりますが、すべての基本はこころとからだの健康からです。そして“安全がすべてに優先する”という意識も忘れず、日々精進し、自らの高みを目指して、公私ともに充実されますことを期待いたします。

以上

2026年4月
代表取締役社長 澤田石 貞彦

NEXCO東日本グループ

経営理念・経営ビジョン・経営方針・基本方針・創造価値

経営理念

NEXCO東日本グループは、高速道路の効果を最大限発揮させることにより、地域社会の発展と暮らしの向上を支え、日本経済全体の活性化に貢献します。

グループ経営ビジョン

NEXCO東日本グループは、地域・国・世代を超えた豊かな社会の実現に向けて、「つなぐ」価値を創造し、あらゆるステークホルダーに貢献する企業として成長します。

グループ経営方針

- ①お客さまを第一に考え、安全・安心・快適・便利を向上させます。
- ②公正で透明な企業活動のもと、経営資源を最適に活用することにより、健全なグループ経営を行うとともに、的確な企業情報の発信を行います。
- ③終わりなき効率化を追求し、技術とノウハウを発揮した事業により、社会の発展を支えます。
- ④グループ社員が健康でやりがいを持って働ける環境を整え、社員各自の努力とその成果を重視し、チャレンジ精神を大切にします。
- ⑤CSR経営を推進し、ステークホルダーにとどける価値とグループ全体の企業価値を高め、持続可能な社会の実現に貢献します。

基本方針・創造価値

I 安全・安心・快適・便利な社会インフラサービスをお届けするとともに、次世代高速道路の取組みを推進する

- [I-1] 防災・減災対策を着実に実施し多様な災害に備えるとともに、被災地に緊急車両や支援物資をお届けする「命の道」の役割を果たすため、発災後高速道路機能を迅速に回復させる取組みを推進します。
- [I-2] 新たな路線の建設、交通容量の拡大及び交通需要を平準化する取組みによって、安全でスムーズに走行できる高速道路ネットワークをお届けします。また、リニューアル工事などの老朽化対策や交通事故対策の着実な実施、新たな時代のニーズに応えるSA・PAサービスにより、お客さまに安全・快適にご利用いただきます。
- [I-3] 新しい技術を取り入れ、自動運転の支援や電気自動車普及環境の整備など、次世代の高速道路に向けた取組みを推進し、高速道路の新たな価値を追求します。

II 社会課題の解決に貢献し、日本と地域を支える

- [II-1] 物流の働き方改革に伴う課題、地域社会の課題及び気候変動問題などの解決に貢献し、社会の持続可能性の要請に応えます。また、海外の高速道路事業者向け技術協力を行うなど、諸外国の発展に貢献します。

III 事業運営力を強化し、働く人にとって誇れる企業グループとなる

- [III-1] DXにより業務の生産性を向上させ、人材育成により能力を高めるとともに、社員一人ひとりが安心して働き、公私ともに充実した生活を送れる働きやすい環境を整えます。もって、事業環境の変化に対応して持続的に高速道路サービスをお届けし、地域の期待に応えていくことで、世の中の信頼を得られる企業グループを実現します。

4 エンジ会社「エンジ会社のミッション」「エンジ会社の役割」 「経営環境とエンジグループ共通施策」

エンジ会社のミッション

NEXCO 東日本グループの一員として、未来を見据え「24時間、365日、安全・安心・快適・便利な高速道路空間」をお客さまに提供し続けます。

エンジ会社の役割

安全を最優先に点検・診断はあらゆる業務の起点であることを認識し、技術開発や業務プロセスを深化させ、自ら考え変革意識をもって、保全管理業務を確実に実施し、社会に貢献する。

経営環境とエンジグループ共通施策

<経営環境>

- ①インフラの同時多発的な老朽化の進行
- ②少子高齢化の急激な進展と労働力人口の急激な減少
- ③気象の極端化、災害の激甚化、頻発化
- ④物価・人件費高騰などの経済情勢の変化
- ⑤人材や働き方ニーズの多様化
- ⑥AI技術の急速な進歩やDXの進化
- ⑦持続可能な社会への貢献

<共通施策>

- ①業務効率化・高度化を目指したDXの推進、進化するSMHの展開
- ②ライフサイクルコスト低減への取り組み
- ③災害対応力の強化
- ④人材確保と人財育成の強化
- ⑤働き方改革と健康経営の推進
- ⑥グループ間の連携や外部機関とのアライアンス強化
- ⑦次世代高速道路への取組みの推進
- ⑧従業員の安全確保
- ⑨2050年カーボンニュートラルに向けた取組みの推進

経営理念・経営方針

経営理念

ネクスコ・エンジニアリング新潟は、高速道路技術の専門家として、高速道路の効果を最大限発揮させ、地域社会の発展と暮らしの向上に貢献します。



経営方針

NEXCO 東日本グループの一員として経営ビジョンを共有し、技術力をもって高速道路の健全性向上に寄与し、公正で透明な経営を目指します。



目指す姿

高速道路のホームドクターとして、あらゆる先端技術を活用し維持管理の専門技術力を最大限発揮して高速道路を守り抜き、地域社会の発展と暮らしの向上を支えるとともに、公正で透明な健全経営を目指す。

- ・社員と社長の意見交換会
- ・エンゲージメント調査結果

基本方針と重点項目

基本方針1 高速道路の維持管理体制の強化 創造価値〔I-2〕

進化するSMHの展開、DXの推進、先端技術活用により維持管理業務を高度化・効率化し、現場力を高め高速道路を守る。

＜重点計画＞

- 1-1 着実な点検管理の実施と新技術／先端技術の導入及び活用
- 1-2 技術力向上と人材育成
- 1-3 データ活用による提案型業務への転換

基本方針2 技術戦略の推進 創造価値〔I-3〕

地域の研究機関と連携し、共同研究による技術開発、DXの基盤形成、環境GXの取組みを推進し、維持管理の専門技術力を深化させる。

＜重点計画＞

- 2-1 道路管理の高度化に向けた技術開発とデジタル変革の推進
- 2-2 地域大学等との技術連携や調査・共同研究の推進

基本方針3 経営基盤の強化 創造価値〔III-1〕

人材育成やグループ間の相互連携による経営資源を有効活用することにより、一人ひとりが成長を実感できる安定した経営基盤を強化するとともに、安全や品質に対する意識の向上やリスク管理などコーポレートガバナンスを強化する。

＜重点計画＞

- 3-1 人材育成を主体とした安定的な経営基盤の強化
- 3-2 安全意識の維持向上と品質管理の充実
- 3-3 大規模災害への事前準備と災害対応力の強化
- 3-4 カーボンニュートラルに向けた取組みの推進
- 3-5 コーポレートガバナンスの強化

基本方針4 誰もが生き生きと働きがいのある会社づくり

社員一人ひとりの健康管理の戦略的なサポートをはじめ、モチベーションの向上によりワークライフバランスの実現と成長を実感し、地域社会の一員として、一人ひとりが生き生きと働きがいのある会社づくりを目指す。

＜重点計画＞

- 4-1 社員の健康管理やモチベーションの向上と働きがいのある職場環境の整備
- 4-2 女性活躍推進法、次世代法にもとづく取組みの推進
- 4-3 ワークライフバランスの達成

中期経営計画 基本方針・重点計画・行動計画

(アクションプラン)

基本方針	重点計画
【基本方針1】 高速道路の維持管理体制の強化 (創造価値) 進化するSMHの展開、DXの推進、先端技術活用により維持管理業務を高度化・効率化し、現場力を高め高速道路を守る。	1-1 着実な点検管理の実施と新技術/先端技術の導入及び活用
	1-2 技術力向上と人材育成
	1-3 データ活用による提案型業務への転換
【基本方針2】 技術戦略の推進 (創造価値) 地域の研究機関と連携し、共同研究による技術開発、DXの基盤形成、環境GXの取組みを推進し、維持管理の専門技術力を深化させる。	2-1 道路管理の高度化に向けた技術開発とデジタル変革の推進
	2-2 地域大学等との技術連携や調査・共同研究の推進

アクションプラン 項目(プラン名)		主幹部署	実施部署	関連ページ
1-1-1	SMHツールの活用および維持管理業務におけるDXの推進	土木計画部	土木技術部・土木管理部・土木保全部・点検事務所	11
1-1-2	点検・調査支援技術の活用による業務の高度化・効率化	点検事務所	土木技術部・土木計画部・土木保全部・土木管理部	11
1-1-3	新技術導入による災害対応力・防災機能の強化	土木技術部	土木管理部・土木計画部・土木保全部・点検事務所	12
1-1-4	「施設故障呼出ゼロ」を実現する技術の導入	施設管理部	施設工務部・施設技術部・施設保全部	12
1-1-5	施設SMHを最大限活用した維持管理業務の高度化・効率化	施設保全部	道路事務所	13
1-2-1	保全管理業務プロセスの検証ならびに技術者スキルの強化 CAT1：点検・調査・設計＝考察力・診断力	土木技術部	土木管理部・点検事務所	13
1-2-2	保全管理業務プロセスの検証ならびに技術者スキルの強化 CAT2：工事管理＝対応力	土木保全部	土木管理部・道路事務所	14
1-2-3	保全管理業務プロセスの検証ならびに技術者スキルの強化 CAT3：記録・分析＝情報活用力	土木保全部	土木計画部・土木管理部・道路事務所	15
1-2-4	施設業務サイクルの各プロセスを検証しスキルを強化 CAT1：点検・制御管理＝診断力・対応力	施設保全部	道路事務所	15
1-2-5	施設業務サイクルの各プロセスを検証しスキルを強化 CAT2：保全工事＝判断力・対応力	施設工務部	道路事務所	16
1-2-6	施設業務サイクルの各プロセスを検証しスキルを強化 CAT3：調査設計＝考察力・計画推進力	施設技術部	—	17
1-2-7	施設業務サイクルの各プロセスを検証しスキルを強化 CAT4：施工管理・施設資産管理＝判断力・情報活用力	施設管理部	道路事務所	17
1-2-8	施設生産性向上WGチームを活用した業務の高度化・効率化	施設管理部	施設計画部・施設保全部・施設工務部・施設技術部・道路事務所	18
1-2-9	関越トンネルや北陸道連続トンネルの施設設備更新の支援	施設計画部	施設管理部・施設保全部・施設工務部・施設技術部	19
1-2-10	各部署連携による各分野の技術力向上と個人のレベルアップ	土木管理部	土木技術部・土木計画部・土木保全部・点検事務所・道路事務所	19
1-2-11	共同研究・論文投稿及び研修参加の推進、事業部内・各事務所への内容・結果(振返り)共有	土木管理部	土木技術部・土木計画部・土木保全部・点検事務所・道路事務所	20
1-3-1	確実な点検・調査の実施と正確・適正な評価・診断	点検事務所	土木技術部・土木管理部	20
1-3-2	確実な工事管理の実施と適切な補修記録の更新・蓄積	土木保全部	土木管理部・道路事務所	21
1-3-3	各部署連携によるデータ収集・整理・更新・活用方法の確立とデータ基盤実装	土木計画部	土木技術部・土木保全部・土木管理部・点検事務所	21
1-3-4	データ分析・可視化による「予防保全型維持管理」への転換促進	土木計画部	土木管理部・土木保全部・土木技術部・点検事務所	22
1-3-5	各部署連携による補修計画・調査計画等の立案・提案	土木計画部	土木技術部・土木保全部・土木管理部・点検事務所・道路事務所	22
1-3-6	施設業務サイクルの各業務相互連携強化	施設管理部	施設計画部・施設保全部・施設工務部・施設技術部・道路事務所	23
2-1-1	既存技術・製品の性能向上と機能強化	技術開発部	—	24
2-1-2	地域特性及び現場課題に対応した技術・製品開発の取組み	技術開発部	—	24
2-1-3	DX・GX施策の企画及び推進①	技術企画部	—	25
	DX・GX施策の企画及び推進②	環境GX部	—	25
2-1-4	AI技術を活用したナレッジマネジメントシステムの構築	施設保全部	道路事務所	26
2-2-1	地域大学等との共同研究・自主研究を推進し成果を報告①	施設管理部	環境GX部・施設保全部・施設技術部	26
	地域大学等との共同研究・自主研究を推進し成果を報告②	土木事業部	—	27

基本方針	重点計画
【基本方針3】 経営基盤の強化 （創造価値） 人財育成やグループ間の相互連携による経営資源を有効活用することにより、一人ひとりが成長を実感できる安定した経営基盤を強化するとともに、安全や品質に対する意識の向上やリスク管理などコーポレートガバナンスを強化する。	3-1 人財育成を主体とした安定的な経営基盤の強化
	3-2 安全意識の維持向上と品質管理の充実
	3-3 大規模災害への事前準備と災害対応力の強化
	3-4 カーボンニュートラルに向けた取組みの推進
	3-5 コーポレートガバナンスの強化
【基本方針4】 誰もが生き生きと働きがいのある会社づくり （創造価値） 社員一人ひとりの健康管理の戦略的なサポートをはじめ、モチベーションの向上によりワークライフバランスの実現と成長を実感し、地域社会の一員として、一人ひとりが生き生きと働きがいのある会社づくりを目指す。	4-1 社員の健康管理やモチベーションの向上と働きがいのある職場環境の整備
	4-2 女性活躍推進法、次世代法にもとづく取組みの推進
	4-3 ワークライフバランスの達成

アクションプラン 項目(プラン名)		主幹部署	実施部署	関連ページ
3-1-1	組織のあり方や適正要員数の検討と最適化	企画部	総務部	28
3-1-2	少子化社会における確実な採用戦略の構築並びに推進	企画部	—	28
3-1-3	人財育成計画の策定と最適な人事評価制度の検討	企画部	技術企画部	29
3-1-4	社員の総合技術力向上のための支援や教育の推進	企画部	技術企画部・総務部・点検事務所・道路事務所	29
3-1-5	適切・確実な原価管理の実行	企画部	全社	30
3-1-6	新・総合管理システム更改への取組み	企画部	総務部	30
3-1-7	技術開発マネジメント力の強化	技術開発部	—	31
3-2-1	労働災害撲滅に向けた安全対策の推進	品質安全管理部	—	31
3-2-2	品質マネジメントシステムの効果的な運用	品質安全管理部	—	32
3-2-3	生産性向上への取組み	総務部	品質安全管理部	32
3-3-1	実効性のある防災訓練の実施と更なる災害支援体制の強化	企画部	—	33
3-3-2	災害時に備えた高速道路設備の機能維持訓練実施	施設保全部	施設管理部・施設計画部・施設技術部・施設工事部・道路事務所	33
3-4-1	環境に対する社会的責任への取組み	環境 GX 部	—	34
3-5-1	コンプライアンス意識の更なる醸成の推進	業務監査室	—	34
3-5-2	的確・確実なリスクマネジメントの推進	企画部	—	35
3-5-3	情報セキュリティ対策の取組み	技術企画部	—	35
3-5-4	公正で透明な契約業務及び経理業務の遂行	企画部	総務部・点検事務所・道路事務所	36
3-5-5	内部監査執行力および組織力の強化	業務監査室	総務部	36
4-1-1	社員の健康維持、増進への取組み	総務部	企画部	37
4-1-2	定年延長制度の検討と設計および制度の運用	企画部	総務部	37
4-1-3	ESとエンゲージメントの更なる向上	企画部	総務部	38
4-1-4	CSR活動による地域社会への貢献	総務部	点検事務所・道路事務所	38
4-2-1	一般事業主行動計画の確実な実施	総務部	企画部	39
4-2-2	Shine+(シャインプラス)の推進	総務部	企画部	39
4-3-1	ワークライフバランスの達成	総務部	企画部	40